

はだかのお付き合い

地域の憩いの場

銭湯訪問誌

落語や歌に登場した銭湯も時代とともに姿を消してしまったが、富士見市内には現在も三つの銭湯があり、そのうちの一つか鶴瀬西地域にあります。

昭和40年からの銭湯には入口に番台があり、中には三助さんかいて、ポンポンと軽快に肩をたたく音が響きわたっていました。「懐かしいね」と思い出話に話が弾む一方、銭湯に行つたことがない編集委員もいて、それなりに今も銭湯事情を取材せさせて頂きました。

健康湯ランド

定休日 月曜日

営業時間 午後2時半～11時半

昭和30年代に鶴瀬団地ができ、

そのころから近隣に商店が立ち並び、特に40年代に入ると正興商店街が地域に大変なにぎわいをもたらしてくれました。

今もその一角に「健康湯ランド」があります。「健康湯ランド」は3階の大きなビルのモダンな銭湯で、サウナバス、ラドンバス、薬草湯、マッサージ風呂、寝風呂、座風呂などたくさんの種類の浴槽が完備されているので、いろいろな風呂に入る楽しさがあります。お馴染みの黄色いプラスチック桶にはオ

リジナル屋号が入っています。「昔の風呂屋は職人が薪

地下にあるボイラーと分電盤

つるせ浴場

定休日 金曜日

営業時間 午後2時半～11時

団地が出来た後の昭和42年、市内で最初に第6保育所南側にオープン。今ご主人は、昭和45年から3代目として現在に至っています。40年前くらいまでは、赤ちゃんとお風呂屋さんでした。

銭湯の歴史は古く、日本に仏教が伝来したころからで、僧侶たちが身を清めるために寺院にお風呂を設置したのが始まりしく、当初は無料で一般開放されたようですが、鎌倉時代の文献に「湯銭」の文字があることから入浴料を取り

るというがあらわれ、それが銭湯になったのはというものです。特に江戸時代になると火災が多かったので、防災の点から内風呂は禁止されました。多くの大衆浴場は、商業的にもいろいろなアイデアをこらし町のにぎわいを演出したものでした。(ウェブペイディアより)



今では珍しい富士山のペンキ絵

《公衆浴場高齢者入浴券》

65歳以上で①ひとり暮らしの方②高齢者のみでお住まいの方は、入浴補助券が無料入浴券を利用できます。問合せ／高齢者福祉課 (051) 271-11内線301

掛けられ、「いいじだ反だちになつたり、おしゃべりを楽しみに来てくれているお客さんがいると分かれているお客さんが多いと分かり、また頑張ろうと思つた」とこ

と声を

男湯の顔見知りで「銭湯会」を作り、新年会や花見、暑気払い、一泊旅行等、口実を作つては集まつて楽しんでいます。

地下にあるボイラーと分電盤

地下にあるボイラーと分電盤